

災害時協力企業（事業所）の紹介

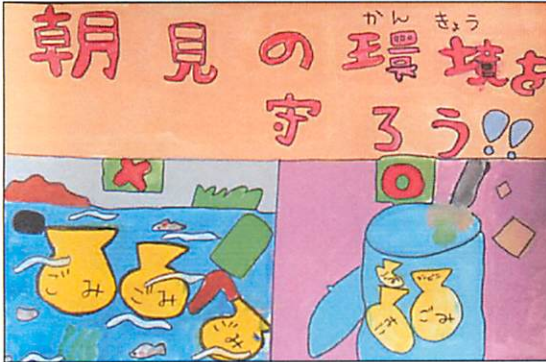
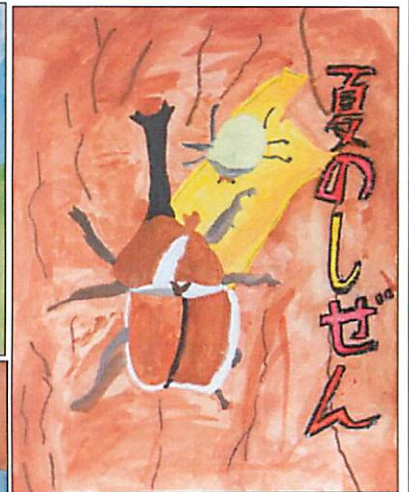
《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》  
 (大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA  
 松阪農機センター (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社  
 北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター  
 (立田) 宝山石油株式会社・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛  
 冶春建設有限会社・さくらテラス (古井) 有限会社松井工務店・榊  
 産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サン  
 力機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木農産・佃橋本  
 電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・  
 有限会社安達建設 (26事業所)

# あさみ会報

朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部

松阪市大宮田町 209-4  
 朝見地区市民センター内  
 電話 0598-52-0007

2013.02.28 発行  
 第 42 号



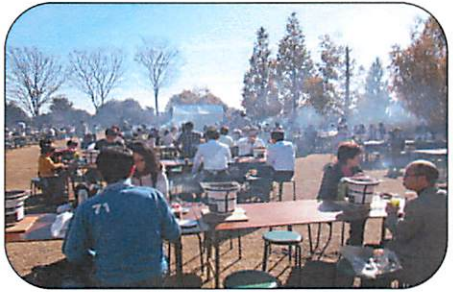
**環境美化ポスター優秀作品**

地域環境部会は、環境美化に朝見小学生4、5、6年生の協力を得て環境美化ポスターの制作をおこなった。役員で審査を行い優秀作品11作品を選び前期終業式の席上で表彰を行なった。優秀作品は朝見地区内10町に分けられて掲示板や目立つ箇所に掲示される。子供たちの優秀作品だけに毎年大切に掲示されているので箇所によっては何年も前のものが残っているが担当者は剥がしがたいから残していると行っている。

# 平成24年・第63回松阪牛まつり、松阪牛共進会が開催、松阪牛肉炊き込み丼出店

平成24年11月25日（日）会場：松阪ヘルファームにて、第63回の松阪牛まつりが開催されました。秋晴れの下、すこい参加者（昨年度の倍の人数か）で盛大に開催される。

主催の松阪牛共進会ブースでは、予選を勝ち抜いた松阪牛50頭が出品、セリが行われ松阪牛クイーンが選ばれます。また、松阪牛すき焼き大試食会会場では、約1000食分が見学者に無料で振舞われました。



出店ブースでは約50店が参加、朝見まつくり協議会では松阪牛まつり50回開催より出店している。松阪牛肉の炊き込み丼350食を完売した（牛丼350円+お茶¥400円で販売する）。郷土食の松阪牛肉入り炊き込みの味こはん朝見一店

焼肉ブースでは、市内の3焼肉店が出店、有料ですがそれぞれが炭火七輪を囲み焼肉ホルモンで一带を美味しく煙と共に松阪牛の美味しさを堪能していました。

## 美里総合支所連合自治会 視察研修

### 意見交換会の内容

平成24年11月22日13時30分より朝見地区市民センターにて  
美里：美里地域は山間部にあり、古い家は敷石を土台に家を立てている家屋が多く地震による家屋の倒壊が心配である。  
美里：山林の手入れもないので山くずれや土石流での被害対策をしないと危険なところがある。  
美里：美里は津市の西部に位置し若者の働く場所もなく皆都会に出ていって高齢化が進んでいる。  
美里：16地区があり高齢化は40%〜29%と高く災害が発生したときには老人子供たち、要援護者の対策が重要である。

美里：現在、民生委員を中心に連絡網の体制を作ることが大事ではないかとして調査、掌握をしている。  
美里：また、社会福祉協議会を中心に各自の氏名、住所、病歴や連絡網の書類を保管するようになっている。  
美里：特に要援護者の家庭など隣近所が力を合せ、声かけなど行い災害時の救護に役立つよう心がけている。

区に昔から伝わる料理。出合仕事（田舎の共同作業）が終わると和田金で松阪肉を購入してきて共同作業を終え、みんなで飲むお酒、食事は当時の一大イベントでした。その炊き込みご飯を朝見地区の郷土食として残そうと松阪牛まつりに参加しています。

美里：朝見地区では津波対策も必要ではないかと思いが、どのような対策をされているのでしょうか。  
朝見：私たちの地域はこの地区市民センターが海拔4mですが6mを超える津波が発生すれば被害にあいます。  
朝見：東日本大震災後は津波対策が必要であるとして、昨年の防災訓練から津波からの避難対策として高台避難所（松坂商業高校：海拔23メートル）を目指して、徒歩による避難訓練を行う。

朝見：避難所までは約4km、一時間を要しますが津波到達時間を想定すると徒歩で逃げられる距離、時間であると思います。  
朝見：朝見地区の要援護者避難対策は、昔からの集落であり各町の自治会が把握してありますので各自自治会に責任を持ってもらえようと思います。

朝見：避難所までは約4km、一時間を要しますが津波到達時間を想定すると徒歩で逃げられる距離、時間であると思います。  
朝見：朝見地区の要援護者避難対策は、昔からの集落であり各町の自治会が把握してありますので各自自治会に責任を持ってもらえようと思います。

朝見：避難所近づくに多機能養護施設があり災害時協力企業として契約を行なっている。  
朝見：大人の参加者はマンネリ化を防ぐため毎回の訓練でアンケート調査を行なっている。

朝見：大人の参加者はマンネリ化を防ぐため毎回の訓練でアンケート調査を行なっている。

朝見：参加者は350名中70〜50代で90%を占める、又、女性は40%位が参加率である。  
朝見：参加者が一人でも多くなるように安否確認表を全戸に配布して訓練日の欠席届けに利用して、防災訓練の意識を高める。

朝見：訓練では対策本部の訓練として避難者報告の受付を行い、訓練参加者ともに避難の無事故報告と安否確認者の報告を行い開会式にて町別に避難者報告を行なう。各町の訓練参加への意識が高まるようになっている。  
朝見：アンケート調査ではマンネリ化しているとか、訓練は毎年やらなくていいとか、意見が書かれています。何時間か起るから分らない大震災に備えて繰り返しの訓練が非常時に役立つとして毎年開催をしています。

朝見：訓練では対策本部の訓練として避難者報告の受付を行い、訓練参加者ともに避難の無事故報告と安否確認者の報告を行い開会式にて町別に避難者報告を行なう。各町の訓練参加への意識が高まるようになっている。  
朝見：アンケート調査ではマンネリ化しているとか、訓練は毎年やらなくていいとか、意見が書かれています。何時間か起るから分らない大震災に備えて繰り返しの訓練が非常時に役立つとして毎年開催をしています。

朝見：訓練では対策本部の訓練として避難者報告の受付を行い、訓練参加者ともに避難の無事故報告と安否確認者の報告を行い開会式にて町別に避難者報告を行なう。各町の訓練参加への意識が高まるようになっている。  
朝見：アンケート調査ではマンネリ化しているとか、訓練は毎年やらなくていいとか、意見が書かれています。何時間か起るから分らない大震災に備えて繰り返しの訓練が非常時に役立つとして毎年開催をしています。

朝見：訓練では対策本部の訓練として避難者報告の受付を行い、訓練参加者ともに避難の無事故報告と安否確認者の報告を行い開会式にて町別に避難者報告を行なう。各町の訓練参加への意識が高まるようになっている。  
朝見：アンケート調査ではマンネリ化しているとか、訓練は毎年やらなくていいとか、意見が書かれています。何時間か起るから分らない大震災に備えて繰り返しの訓練が非常時に役立つとして毎年開催をしています。

A：その為に、まちづくり組織は任期をもうけて持続可能な対応が出来るようにしています。また、町別に組織の格差が出て来ますが長い目で見て一年一年の防災訓練の取り組みで防災力の育成をしているところです。  
Q：役割カートの活用は？  
A：ヒントはある町から町内の防災訓練をする時に、役職を明確にするために首にかける役職名と氏名の書くカードを作ってほしいとの依頼から、一年目の役に慣れない自治会長や自主防災隊長

A：その為に、まちづくり組織は任期をもうけて持続可能な対応が出来るようにしています。また、町別に組織の格差が出て来ますが長い目で見て一年一年の防災訓練の取り組みで防災力の育成をしているところです。  
Q：役割カートの活用は？  
A：ヒントはある町から町内の防災訓練をする時に、役職を明確にするために首にかける役職名と氏名の書くカードを作ってほしいとの依頼から、一年目の役に慣れない自治会長や自主防災隊長

A：その為に、まちづくり組織は任期をもうけて持続可能な対応が出来るようにしています。また、町別に組織の格差が出て来ますが長い目で見て一年一年の防災訓練の取り組みで防災力の育成をしているところです。  
Q：役割カートの活用は？  
A：ヒントはある町から町内の防災訓練をする時に、役職を明確にするために首にかける役職名と氏名の書くカードを作ってほしいとの依頼から、一年目の役に慣れない自治会長や自主防災隊長

A：その為に、まちづくり組織は任期をもうけて持続可能な対応が出来るようにしています。また、町別に組織の格差が出て来ますが長い目で見て一年一年の防災訓練の取り組みで防災力の育成をしているところです。  
Q：役割カートの活用は？  
A：ヒントはある町から町内の防災訓練をする時に、役職を明確にするために首にかける役職名と氏名の書くカードを作ってほしいとの依頼から、一年目の役に慣れない自治会長や自主防災隊長

A：その為に、まちづくり組織は任期をもうけて持続可能な対応が出来るようにしています。また、町別に組織の格差が出て来ますが長い目で見て一年一年の防災訓練の取り組みで防災力の育成をしているところです。  
Q：役割カートの活用は？  
A：ヒントはある町から町内の防災訓練をする時に、役職を明確にするために首にかける役職名と氏名の書くカードを作ってほしいとの依頼から、一年目の役に慣れない自治会長や自主防災隊長

A：大震災が起れば停電、通信不能、家屋の倒壊等全てが止まることになり、公的支援は望めないとして地区や町は自給自足状態になるでしょう。私たちの地区は簡易水道の為、水源には非常時用としてインジキのポンプがあります。飲料水は確保できる。食料も農村地帯ですから出来ます。ただ家屋の倒壊や火災が起れば無力です。なすすべもありません。その為に防災訓練では家屋の倒壊を想定して逃げ、一刻も早く救出を待たずに逃げる。重機の使用など機動力が発揮できるように「災害時協力企業」の協力を、業種を選ばずフォークリフトやコンボを所有している所に協力を求めました。

A：大震災が起れば停電、通信不能、家屋の倒壊等全てが止まることになり、公的支援は望めないとして地区や町は自給自足状態になるでしょう。私たちの地区は簡易水道の為、水源には非常時用としてインジキのポンプがあります。飲料水は確保できる。食料も農村地帯ですから出来ます。ただ家屋の倒壊や火災が起れば無力です。なすすべもありません。その為に防災訓練では家屋の倒壊を想定して逃げ、一刻も早く救出を待たずに逃げる。重機の使用など機動力が発揮できるように「災害時協力企業」の協力を、業種を選ばずフォークリフトやコンボを所有している所に協力を求めました。

A：大震災が起れば停電、通信不能、家屋の倒壊等全てが止まることになり、公的支援は望めないとして地区や町は自給自足状態になるでしょう。私たちの地区は簡易水道の為、水源には非常時用としてインジキのポンプがあります。飲料水は確保できる。食料も農村地帯ですから出来ます。ただ家屋の倒壊や火災が起れば無力です。なすすべもありません。その為に防災訓練では家屋の倒壊を想定して逃げ、一刻も早く救出を待たずに逃げる。重機の使用など機動力が発揮できるように「災害時協力企業」の協力を、業種を選ばずフォークリフトやコンボを所有している所に協力を求めました。

A：大震災が起れば停電、通信不能、家屋の倒壊等全てが止まることになり、公的支援は望めないとして地区や町は自給自足状態になるでしょう。私たちの地区は簡易水道の為、水源には非常時用としてインジキのポンプがあります。飲料水は確保できる。食料も農村地帯ですから出来ます。ただ家屋の倒壊や火災が起れば無力です。なすすべもありません。その為に防災訓練では家屋の倒壊を想定して逃げ、一刻も早く救出を待たずに逃げる。重機の使用など機動力が発揮できるように「災害時協力企業」の協力を、業種を選ばずフォークリフトやコンボを所有している所に協力を求めました。

A：大震災が起れば停電、通信不能、家屋の倒壊等全てが止まることになり、公的支援は望めないとして地区や町は自給自足状態になるでしょう。私たちの地区は簡易水道の為、水源には非常時用としてインジキのポンプがあります。飲料水は確保できる。食料も農村地帯ですから出来ます。ただ家屋の倒壊や火災が起れば無力です。なすすべもありません。その為に防災訓練では家屋の倒壊を想定して逃げ、一刻も早く救出を待たずに逃げる。重機の使用など機動力が発揮できるように「災害時協力企業」の協力を、業種を選ばずフォークリフトやコンボを所有している所に協力を求めました。



### 意見交換会

### 近江八幡市連合自治会からの視察研修

平成24年11月27日朝見地区市民センターにて  
Q：防災組織の体制は？  
A：朝見地区は自治会長以下全役員が一年間となっていて、町自主防災隊長など入れ変わります。その為、自主防災行動マニュアルも役員の間では新規に入れ替えます。また、4月の地区自治会長会にて朝見地区の防災体制は説明を行い非常時に備えます。自主防災行動マニュアルは各町集会所に貼り出していますが同時に貼り替えるようにしています。  
Q：自主防災組織が新体制になれば防災力が保たれなくなるのでは？

平成24年11月27日朝見地区市民センターにて  
Q：防災組織の体制は？  
A：朝見地区は自治会長以下全役員が一年間となっていて、町自主防災隊長など入れ変わります。その為、自主防災行動マニュアルも役員の間では新規に入れ替えます。また、4月の地区自治会長会にて朝見地区の防災体制は説明を行い非常時に備えます。自主防災行動マニュアルは各町集会所に貼り出していますが同時に貼り替えるようにしています。  
Q：自主防災組織が新体制になれば防災力が保たれなくなるのでは？

A：まちづくりの活動は「セーフコミュニティ」の考え方で行っています。まちづくりの全ての活動が結びついで防犯、福祉、青少年などの問題にもいい効果が現れて来るように思っています。  
Q：私たちの地域は要援護者の掌握に社会福祉協議会と民生委員が協力している。  
A：朝見地区も高齢化率は29%ですが、年々高くなってきています。現在は2世代3世代家族もありますが若者は都会に出て行く傾向です。団塊の世代が高齢化すると一気に、独居世帯や老人世帯が多くなってしまいます。そのような時代にならうとど「安心して暮らせるまちづくり」を目指しています。

A：まちづくりの活動は「セーフコミュニティ」の考え方で行っています。まちづくりの全ての活動が結びついで防犯、福祉、青少年などの問題にもいい効果が現れて来るように思っています。  
Q：私たちの地域は要援護者の掌握に社会福祉協議会と民生委員が協力している。  
A：朝見地区も高齢化率は29%ですが、年々高くなってきています。現在は2世代3世代家族もありますが若者は都会に出て行く傾向です。団塊の世代が高齢化すると一気に、独居世帯や老人世帯が多くなってしまいます。そのような時代にならうとど「安心して暮らせるまちづくり」を目指しています。